



親鸞聖人自筆の「教行信証」復刻本

# 願生

がんしょう

**三寶寺寺報 第一九三号**  
 二〇〇五年六月一日発行  
 発行人 目崎 薫(三寶寺住職)  
 伊勢原市沼目三 十一 二一  
 TEL 0463 933 3236  
 FAX 0463 933 5452  
 購読料 加金 年三〇〇〇円(年・送料込)  
 郵便振替口座 一〇二〇〇〇六一〇五八五三一  
 〒259-1126

勝鬘經(しょうまんぎょう)  
 阿羅漢は、仏の歸依するも、阿羅漢に恐怖あり。  
 ……人が剣を執つて来て己れを害せんと欲するが如し。  
 ……畏怖を似ての故に如来に依る。  
 略 阿羅漢は、声聞の  
 最高の境地、阿羅漢は、  
 積尊に歸依(よりどころ)しながらも、どこ  
 か心の姿勢に枉(まが)つたところがあつて、正覚  
 (目覚め)があらわれず、  
 恐れ、不安(死畏)におびやかされる。  
 その自分に驚いて、心  
 目醒めて歸依仏から  
 歸依如来の一心がおこ  
 る。  
 如来に歸依することである。  
 聖徳太子の心  
 仏に歸依すると、恐れ、不安あり  
 如来に歸依するものに無量寿あり  
 歸命無量寿如来  
 親鸞聖人の心(正信偈)  
 如来、一切のために、  
 常に慈父母と作りたまえり。  
 教行信証(信) P 267

仏よりどころにすると  
 死の恐怖心あり  
 如来よりどころにすると  
 生身の歡喜  
 親が子等を思ふが如く  
 慈悲心がわかる  
 三寶寺

三寶寺掲示板 六月  
 一日  
 一日は  
 新しい  
 いのち  
 The day is  
 fresh day by  
 day,  
 this precious  
 lives.